



社会人の学び直し 知るためのシンポジウム

企業で働く社会人らが知識や技能を学び直す「リカレント教育」を知るためのシンポジウムが4日、大分

市金池南のJCOMホールトホール大分であった。県内の産学官でつくる「おおい

た地域連携プラットフォーム」の主催。企業や大学から約1000人が参加した。

文部科学省の西明夫リカレント教育・民間教育振興室長が「大学などがリカレント教育に取り組む意義と推進に向けた方向性」と題して基調講演をした。

西室長は「少子高齢化で人手不足が課題となる今、スキルを学び労働生産性を上げることが必須だ」と強調した。

続いて柳井電機工業（大分市）の取り組み紹介があった。

（児屋野香純）